

2020 18th AP Conference

Title : 言語と文化アイデンティティ

韓国語釜山方言の 外来語の複合語アクセントについて

2020年11月14日

発表：李美姫(イ・ミヒ)

立命館アジア太平洋大学

leemh@apu.ac.jp

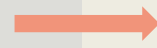
1. 研究の背景と目的

従来、外来語は原語において複合語であっても外来語として借用されると単純語として扱われてきた。しかし、外来語のアクセントにおいては、原語で単純語のものと複合語のもので違いが見られる。

1) 慶尚南道方言では、
(C)V構造を重音節
(C)VC構造を軽音節とする。

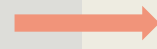
2) 高音調をH(High)、低音調をL(Low)で表すことにする。

- (1) 原語が単純語であるもの
a. 스캔들 ‘scandal’ LHH
b. 트럼펫 ‘trumpet’ LHH



(1)は軽重重構造¹⁾の
デフォルトアクセントであるLHH型²⁾

- (2) 原語が複合語であるもの
c. 쇼핑몰 ‘shopping mall’ HHL
d. 모닝콜 ‘morning call’ HHL



しかし(2)は同じ軽重重構造なのにHHL型

⇒つまり、同じ音節構造であっても
原語が単純語か複合語かによってアクセント型が違うようである。

1. 研究の背景と目的

したがって、本研究では外来語の中で、
原語がN1 + N2から成る複合語であるもののアクセント型を調べ、
原語が単純語である外来語アクセントとどのような違いがあるか、
そして固有語の複合語アクセントとはどのように異なるかについて考察すること
を目的とする。

目次

1. 研究の背景と目的
2. 釜山方言の外来語アクセント
3. 固有語の複合語アクセント
4. 調査語彙とインフォーマント
5. 分析
 - 5.1. N1が1音節のもの
 - 5.2. N1が2音節のもの
6. まとめ

2. 釜山方言の外来語アクセント

固有語のアクセントは音韻論的要因から予測できず、語彙的に特徴づけられる。

固有語のアクセントの場合

Accent	Example
HH	구름 (雲)
HL	기름 (油)
LH(L)	거름 (肥)

←同じような分節音の組み合わせで、同じく「軽音節+重音節」という音節構造であっても、それぞれ異なるアクセント型を見せ、予測が不可能。

しかし外来語の場合は固有語アクセントと異なり、音韻論的要因から予測可能である。(D-M. Lee2009, 全鎬景2005, 李美姫2016 など)

2. 釜山方言の外来語アクセント

2音節語の外来語アクセント

Weight	Accent	Rate	Example	Gloss
重重	HH	66%	런던	'London'
重軽	HL	87%	넘버	'number'
軽重	LH(L)	75%	레몬	'lemon'
輕輕	HL	91%	노트	'note'

李美姫(2018)より

このように、外来語アクセントは重音節にHトーンが付与され、重音節がない音節の場合は、デフォルト・アクセントになる。そして固有語アクセントにおいて存在しない型やマイナーな型はそれに類似する主要な型になる

2. 釜山方言の外来語アクセント

外来語のアクセント体系と分布

	doubled H		initial		antepenultimate		penultimate		final		unaccented		Totals
1音節語									H(L)	107 (100%)			107 (100%)
2音節語	HH	392 (20%)					HL	1292 (66%)	LH(L)	639 (33%)	LH(H)	21 (1%)	2344 (100%)
3音節語	HHL	404 (18%)	HLL	176 (8%)			LHL	1272 (58%)	LHH(L)	755 (34%)			2607 (100%)
4音節語	HHLL	68 (6%)	HLLL	11 (1%)	LHLL	11 (1%)	LHHL	768 (72%)	LHHH(L)	201 (19%)			1061 (100%)
Totals													6705

李美姫(2018)より

1音節語がすべて語末アクセント(final)で現れるが、2音節語～4音節語では固有語同様、**次末アクセントがデフォルトアクセント**であることが分かる。

2. 釜山方言の外来語アクセント

3音節語の外来語アクセント

Weight	Accent	Rate	Example	Gloss
a. 軽輕輕	LHL	83%	그래프	'graph'
b. 軽輕重	LHH	87%	디자인	'design'
c. 軽重輕	LH(L)	89%	라벤더	'lavender'
d. 軽重重	LHH	79%	스캔들	'scandal'
e. 重輕輕	HHL	46%	컴퓨터	'computer'
f. 重輕重	HHL	34%	캠페인	'champagne'
	LHH	59%	글로벌	'global'
g. 重重輕	HHL	70%	침팬지	'chimpanzee'
h. 重重重	LHH	52%	올림픽	'Olympic'

李美姫(2018)より

2. 釜山方言の外来語アクセント

4音節語の外来語アクセントー①初頭音節が軽音節のもの

Weight	Accent	Rate	Example	Gloss
a. 輕輕輕輕	LHHL	96%	다이어트	‘diet’
b. 輕輕輕重	LHHH	76%	크리스탈	‘crystal’
c. 輕輕重輕	LHHL	100%	프로젝트	‘project’
d. 輕輕重重	LHHH	92%	보디빌딩	‘bodybuilding’
e. 輕重輕輕	LHHL	97%	다운로드	‘download’
f. 輕重輕重	LHHL	48%	스펙트럼	‘spectrum’
	LHHH	48%	다운타운	‘downtown’

李美姬(2018)より

2. 釜山方言の外来語アクセント

4音節語の外来語アクセントー②初頭音節が重音節のもの

Weight	Accent	Rate	Example	Gloss
g. 重輕輕輕	LHHL	73%	악세서리	‘accessory’
h. 重輕輕重	LHHH	57%	심포지엄	‘symposium’
i. 重輕重輕	LHHL	100%	인스턴트	‘instant’
j. 重重輕輕	LHHL	60%	겟세마네	‘Gethsemane’

李美姫(2018)より

4音節語においては、音節量により予測されるアクセント型とデフォルトアクセントの間でゆれが見られ、音節量よりデフォルトアクセントのほうが多く現れる音節構造もある。

2. 釜山方言の外来語アクセント

- 釜山方言のアクセントの特徴

① 語頭のLトーンは2音節以上続かない

例) *LL, *LLH, *LLHH

② 一つの単語内のアクセントの下がり目は一つである

例) *HLH, *HLHL, *LHLH

この特徴は音節量により、アクセントパターンを推測する際に、重要である。

3. 固有語の複合語アクセント

1) 前部要素をN1, 後部要素をN2と呼ぶことにする。

- 早田輝洋(1999)

早田輝洋(1999)は許雄(1963)の金海方言の資料を基にアクセントを解釈しているが、許雄(1963)では複合語の例が少ないため、金海方言と同じアクセント体系であると解釈される昌原方言の例を金次均(1970)から引用し、分析している。

その結果、複合語N1+N2¹⁾においてN2が有アクセント(つまりH(H)型、HH型以外)であり、N1が語末アクセント(H(L)型、LH(L)型)ならN2のアクセントが複合語全体のアクセントになり、N1が語末アクセントでなければN2のアクセントが消え、N1のアクセントが複合語全体のアクセントになる。

3. 固有語の複合語アクセント

- 早田輝洋(1999)

- a. 구름 HH + 속 H(L) → 구름속 HHL
- b. 새 H(H) + 신랑 LH(H) → 새신랑 HHL
- c. 물 H(H) + 소리 HL → 물소리 HHL
- d. 새 H(H) + 살림 LH(L) → 새살림 HHL
- e. 두 L(H) + 사람 LH(H) → 두사람 LHH
- f. 두 L(H) + 아들 HL → 두아들 LHH
- g. 나라 HL + 일 L(H) → 나라일 HLL
- h. 술 H(L) + 친구 HL → 술친구 LHL
- i. 산 H(L) + 골짜기 LH(L) → 산골짜기 LHH
- j. 우리 LH(L) + 말 L(H) → 우리말 HLL

N2が有アクセント(H(H)型、HH型以外)であり、N1が語末アクセント(H(L)型、LH(L)型以外)であるため、N1のアクセントが全体のアクセントとなった。

語末アクセントであるため、Yのアクセントが全体のアクセントとなった。

3. 固有語の複合語アクセント

- 早田輝洋(1999)

- a. 구름
- b. 새
- c. 물
- d. 새
- e. 두
- f. 두
- g. 나라
- h. 술

早田(1999)の複合語アクセント規則

1. 基本的には、N1のアクセントが複合語全体のアクセントになる。
2. ただし、N2がH(H)型, HH型である場合は、N2のアクセントが全体のアクセントになる。
3. N2がH(H)型やHH型でない場合でもN1がH(L)型、LH(L)型の場合はN2のアクセントが全体のアクセントになる。

であり、(以外)であるため、よった。

- i. 산 H(L) + 골짜기 LH(L) → 산골짜기 LHH
- j. 우리 LH(L) + 말 L(H) → 우리말 HLL

品名アクセントであるため、Yのアクセントが全体のアクセントとなった。

4. 調査対象とインフォーマント

インフォーマントは1970年代から80年代生まれの釜山方言話者5人である。そのうち男性は2名、女性は筆者を含め、3名である。

話者A	1980年生	男性
話者B	1987年生	男性
話者C	1974年生	女性
話者D	1977年生	女性
話者E	1988年生	女性 (筆者)

研究する外来語複合語は조형일・남주혜(2012)“알수록 ‘스마트Smart’ 해지는 한국어 외래어와 외국어 표현 3300”と先行研究でのデータから抜粋した2音節語から6音節語までの267語であるが本発表では4音節語までを対象とする。調査語彙はこれらの複合語の構成要素も合わせて総667語である。調査方法はこれらの語彙リストを用意し、インフォーマントに読み上げ式で読んでもらい、筆者が内省でそのアクセント型を判断した。

4. 調査語彙とインフォーマント

インフォーマントは1970年代から80年代生まれの釜山方言話者5人である。そのうち男性は2名、女性は筆者を含め、3名である。

話者A	1980年生	男性
話者B	1987年生	男性
話者C	1974年生	女性
話者D	1977年生	女性
話者E	1988年生	女性(筆者)

インフォーマント5人のアクセント型を比較し、3人以上共通して見られるアクセント型を「一致した」とみなし、「一致した」アクセント型だけを今回の対象とする。

5. 分析

まず、N1の音節数により、分類し、それからN1のアクセント型により分類し、分析を行う。

1. N1が1音節(=N1がH(L)型のもの)

1.1. 2音節語(1+1)

1.2. 3音節語(1+2)

1.3. 4音節語(1+3)

2. N1が2音節

2.1. N1がHH型

2.2. N1がHL型

2.2. N1がLH(L)型

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

固有語の1音節語のアクセントがH(L)型、H(H)型、L(H)型の3つがあるのに対して、外来語の1音節語のアクセントはH(L)型のみである。

5.1. 2音節語(1+1)

H(L)+H(L)→HH型(10語/11語) Ex. 골인 goal-in, 백업 backup, 백팩 backpack, 숏컷 short cut, 섰캡 sun-cap,
원룸 one-room, 원샷 one shot, 콜걸 call girl, 팝송 pop song, 풋볼 football
LH(L)型(1語/11語) Ex. 디램 D-RAM

固有語の複合語アクセントはN1が語末アクセント(つまりH(L)型)の場合、複合語全体も語末アクセントになり、LH(L)型になったが、外来語の場合は11語のうち10語がHH型で現れた。これは、この10語がすべて重重構造であるため、**外来語アクセント規則が適用された**結果であると思われる。

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

5.1.2. 3音節語(1+2)

H(L) +HH → HHL(5/5)

Ex. 킥복싱 kick-boxing, 폰뱅킹 phone banking, 핫커피 hot coffee, 홈뱅킹 home banking, 홈쇼핑 home shopping

→N1のアクセントが語末アクセント(H(L)型)なので、複合語規則によりN2のアクセントが全体のアクセントになり、HHL型が生成されたと考えることも可能であるが、以降の分析と合わせて考えると外来語複合語はN1のアクセント型と関係なく、N1の音調とN2の音調をそのまま連なったアクセントパターンになると考えられる。

そのように考えると、H(L)+HHの場合、HHH型になるが、HHH型は釜山方言のアクセント型に存在しない型なので、それに類似するHHL型になったと思われる。

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

5.1.2. 3音節語(1+2)

H(L) +HH → HHL(5/5)

Ex. 킥복싱 kick-boxing, 폰뱅킹 phone banking, 핫커피 hot coffee, 홈뱅킹 home banking, 홈쇼핑 home shopping

→音節構造を見ると、핫커피以外は重重重構造であり、重重重構造の場合、外来語単純語ではHHL型とLHH型に分かれたが、複合語ではすべてHHL型で現れる。

これは、HHL型とLHH型のうちにN1のアクセントを維持するHHL型のほうが選ばれた。

⇒つまり、**外来語の複合語アクセントが優勢**に働いているのである。

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

5.1.2. 3音節語(1+2)

H(L)+HL → HHL(16/19), LHL(3/19)

Ex. HHL型 : 골네트 goal net, 백미러 back mirror, 북마크 book mark, 씨푸드 sea food, 팬레터 fan letter

LHL型 : 골키퍼 goalkeeper, 쇼윈도 show window, 카시트 car seat

→今度もN1の音調とN2の音調がそのまま連なったHHL型が多い。

HHL型の中には씨푸드 sea food, 카센터 car center, 키노트 keynote, 키홀더 key holderのような輕輕構造や輕重輕構造もあるが、これらは外来語アクセントではデフォルトのLHL型になるが、HHL型で現れている。そのため、H(L)+HLの組み合わせでは外来語アクセント規則より、複合語アクセントの方が優勢に働いているとみることができる。

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

5.1.2. 3音節語(1+2)

H(L)+LH(L) → HHL(7/8), LHH(1/8)

Ex. HHL型 :롤케익 roll-cake, 썬크림 sun cream, 팬미팅 fan meeting

LHH型: 립스틱 lipstick

→H(L)+LH(L)は、すべて重軽重構造であるが、1語を除いてすべてHHL型で現れた。
この場合、外来語アクセントではHHL型とLHH型に約半々に分かれるが、外来語複合語ではすべてHHL型で現れている。

⇒H(L)+LH(L)の組み合わせではまず、外来語アクセント規則によりHHL型とLHH型が予想されるが、この際、N1のHトーンを維持するHHL型が選ばれる。

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

5.1.3. 4音節語(1+3)

H(L)+LHL → HHLL型(10/14)、LHHL(2/14), HLLL(2/14)

Ex. HHLL : 걸프랜드 girl friend, 룸메이트 roommate, 북스토어 book store, 키포인트 key point

LHHL: 노코멘트 no coment, 립글로즈 lip-glos

HLLL: 엠사이즈 M size, 엘사이즈 L size

→HHLL型の場合、키포인트以外はすべて重輕輕輕構造であり、外来語アクセント規則により、HHLL型が予想される。

⇒H(L)+LHLの組み合わせでは外来語アクセント規則が複合語アクセント規則より優先的に適用されHHLL型になる。

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

5.1.3. 4音節語(1+3)

H(L)+LHH → LHHL(1/1)

Ex. 걸스카웃 girl scout

→ 1語だけなので分析が難しい。

5. 分析

5.1. N1が1音節であるもの

- 外来語複合語のアクセントは、固有語の複合語規則と異なり、N1の音調とN2の音調が連なったような音調で現れると思われる。
- N1が1音節、つまりH(L)型は、外来語アクセント規則より、複合語規則が優先的に適用される。
- ただし、N2がLトーンで始まるLH(L)型やLHL型の場合、外来語アクセント規則が先に適用され、アクセントが分かれる際は、N1のアクセントを維持する方のアクセント型が選ばれる。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.1. N1がHH型

5.2.1.1. 3音節語

HH+H(L)→HHL(8/9)

Ex. 골든골 golden goal, 모닝콜 morning call, 쇼핑몰 shopping mall, 쇼핑백 shopping bag, 씨엠송 CM song, 헤딩슛 heading shoot, 오픈카 open car, 커피숍 coffee shop

→ N1のアクセントが全体のアクセントになり、HHL型で現れた。

音節構造では軽重重構造のものが5語あったが、

LHH型ではなく、HHL型で現れているため、複合語規則が適用されたと思われる。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.1. N1がHH型

5.2.1.2. 4音節語

HH + HH (1語) → HHLL

HL (4語) → HHLL

LH(L) (4語) → HHLL

Ex. 모닝커피 morning coffee

Ex. 쇼핑센터 shopping center, 싱글베드 single bed, 알콜램프 alcohol lamp,
커피세트 coffee set

Ex. 런닝머신 running machine, 오픈게임 open game, 커피머신 coffee
machine, 패션모델 fashion model

→HH+HHとHH+HLの場合は、複合語アクセント規則により、N1のアクセントが全体のアクセントになり、HHLL型で現れた。

→HH+LH(L)の場合は、N1がH(L)型の場合と同様、外来語アクセント規則により、HHLL型とLHHH型に分かれるが、N1のHトーンを維持するHHLL型が選ばれたと思われる。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.1. N1がHH型

- N1がHH型であるものは、**複合語アクセント規則**が優先的に適用され、N1のアクセントが複合語全体のアクセント型になる。
- ただし、N2がLH(L)の場合は、**外来語アクセント規則**が適用され、HHL型かLHH型が予想されるが、複合語アクセント規則により、**N1のHトーンを維持するHHL型**が選ばれる。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がHL型

5.2.2.1. 3音節語

HL + H(L) → HLL (17/33)	Ex. 개그쇼 gas show, 슈퍼맨 superman, 테마송 theme song, 포토존 photo zone
LHH (14/33)	Ex. 개그맨 gagman, 체크인 check-in, 핸드폰 hand-phone, 하이힐 high heels
HHL (2/33)	Ex. 렌터카 rent-a-car, 핸드북 handbook

→複合語規則が適用され、N1のHL型が語全体のアクセントとして現れたものと思われる。

→外来語アクセントにおいてHLL型は第2音節と第3音節に挿入母音[-i-]が入るのがほとんどであるので(Ex. 게스트 guest, 디스크 disk, 리스크 risk, 텍스트 text) 外来語アクセント規則ではなく、複合語アクセント規則が適用されたと思われる。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がHL型

5.2.2.1. 3音節語

HL + H(L) → HLL (17/33)	Ex. 개그쇼 gas show, 슈퍼맨 superman, 테마송 theme song, 포토존 photo zone
LHH (14/33)	Ex. 개그맨 gagman, 체크인 check-in, 핸드폰 hand-phone, 하이힐 high heels
HHL (2/33)	Ex. 렌터카 rent-a-car, 핸드북 handbook

しかし、LHH型になるものも14語ある。14語のうち11語は軽軽重構造のものであり、これらは外来語規則が適用され、音節量により、LHH型になったと思われる。HL + H(L)の組み合わせのうち21語が軽軽重構造であるが、そのうち10語がHLL型、11語がLHH型であり、**外来語規則と複合語規則の間でゆれがある**と思われる。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がHL型

5.2.2.1. 4音節語

HL + HH → HLLL (3/6)

LHHH(2/6)

HHLL(1/6)

Ex. 밀크커피 milk coffee, 오버액션 over action, 윈도우쇼핑 window shopping

Ex. 보디빌딩 bodybuilding, 하이패션 high fashion

Ex. 모카커피 mocha coffee

HL+HHの組み合わせが6語で、その数が多くないが、HLLL型が3語、LHHH型が2語現れ、複合語規則と外来語規則でゆれが見られると思われる。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がHL型

5.2.2.1. 4音節語

HL + HL → HLLL (9/15)	Ex. 비트박스 beat-box, 미트소스 meat sauce, 체크카드 check card, 키즈카페 kids cafe
→ LHHL(6/15)	Ex. 센치미터 centimeter, 체크아웃 check-out, 가스렌지 gas range, 헤어샴푸 hair shampoo

HL+HLの組み合わせも同じく **HLLL型とLHHL型に分かれる。**

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がHL型

5.2.2.1. 4音節語

HL + LH(L) → HLLL (9/10) Ex. 데드라인 dead-line, 머니게임 money game, 슈퍼스타 super star,
헬스클럽 health club
→ LHHH(1/10) Ex. 핸드크림 hand cream

HL+LH(L)の場合は外来語アクセント規則だとLHHH型が予測されるが、LHHH型になるものは1語のみで、その他はすべて複合語規則によりHLLL型で現れた。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がHL型

5.2.2.1. 5音節語

HL + HHL(1) → HLLLL

+ HLL(1) → HLLL

+LHL(16) → HLLLL(7/16)

Ex. 슈퍼컴퓨터 super-computer

Ex. 체크리스트 check list

Ex. 가스라이터 gas lighter, 뉴스메이커 news maker, 헤어스타일 hair style,

밀크셰이크 milk shake

LHHHL(8/16)

Ex. 가스스토브 gas stove, 러브스토리 love story, 멀티미디어 multi-media,

미니스커트 mini skirt

HHLLL(1/16)

Ex. 미니사이즈 mini size

HL+HHLとHL+HLLの組み合わせは各1語しかないので分析し難いが、HL+LHLの場合、16語のうち、7語がHLLL型、8語がLHHHL型で現れ、3音節語、4音節語同様、分かれるのである。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がHL型

N1がHH型のものでは複合語規則が優勢であったが、N1がHL型のものでは、複合語規則が適用されるものと外来語規則が適用されるもので分かれる傾向が見られた。

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がLH(L)型

5.2.2.1. 3音節語

LH(L) + H(L) → LHH(9/13) Ex. 블랙홀 black hole, 스쿨존 school zone, 커플링 couple ring
LHL(4/13) Ex. 그린피 green fee, 스낵바 snack bar, 커플티 couple T-shirt

→LHL型の3語が軽重軽構造であるため、LHL型は外来語アクセント規則が適用され、音節量により、LHL型になったと思われる。つまり、N1がLH(L)型の場合は、**複合語アクセントと外来語アクセントで分かれる。**

5. 分析

5.2. N1が2音節であるもの

5.2.2. N1がLH(L)型

5.2.2.1. 4音節語

LH(L) + HH(2) → LHHH(2)
HL(16) → LHHL(16)
LH(L)(2) → LHHH(2)

Ex. 블랙커피 black coffee, 프리토킹 free talking

Ex. 스쿨버스 school bus, 네일아트 nail art, 블랙박스 black box

Ex. 네온사인 neon sign , 더블클릭 double click

→LHL型の3語が軽重軽構造であるため、LHL型は外来語アクセント規則が適用され、音節量により、LHL型になったと思われる。つまり、N1がLH(L)型の場合は、**複合語アクセントと外来語アクセントで分かれる。**

6. まとめ

- 外来語の複合語アクセントは固有語の複合語アクセントと異なり、**N1の音調とN2の音調が連なったアクセント型になる**。それにより生成されたアクセント型が釜山方言に存在しないアクセント型である場合はそれに類似する主要なアクセント型になるが、その際は**N1の音調が維持される方のアクセント型が選ばれる**。

Ex. H(L)+HH → HHH → HHL型

6. まとめ

- 外来語の複合語アクセントは、**複合語アクセント規則と外来語アクセント規則の釣り合いによって決定**される。
- 基本的には複合語アクセント規則が優先的に適用されるが、**N2がLトーンで始まるLH(L)型やLHL型**の場合は、外来語アクセントが先に適用され、その際にアクセント型が分かれる場合は(例えば、**HHL型とLHH型**)はN1のHトーンを維持する方のアクセント型が選ばれる。
- ただし**N1がH(L)型とLH(L)型**の場合は**外来語アクセント規則と複合語アクセント規則の間でゆれ**が見られる。

参考文献

- Do Y, Ito C, Kenstowicz M (2014) Accent classes in South Kyengsang Korean: Lexical drift, novel words and loanwords. *Lingua* 148:147-182.
- Kenstowicz, Michael J and Sohn, Hyang-Sook (2001) Accentual Adaptation in North Kyungsang Korean. In Michael Kenstowicz (ed.) , *Ken Hale: A Life in Language*, 239–70. Cambridge: MIT Press,.
- Lee, Dongmyung (2009) *The loanword tonology of South Kyungsang Korean*, Ph.D. dissertation, Indiana University
- 早田輝洋 (1999) 『音調のタイポロジー』, 東京：大修館書店
- 李美姫(2016) 「韓国語釜山方言の外来語アクセントについて—音節量とその他の音韻論的要因との関わり—」 『東京大学言語学論集』 vol.37:117-132
- 全鎬璟 (2005) 「釜山方言の外来語のアクセント・パターンを決めるもの：分節音の情報と音節構造」九州大学大学院人文科学研究院言語学研究室 (編) 『九州大学言語学論集』 25:143-163.
- 李美姫(2018) 「釜山方言の外来語アクセントについて」, 第258回朝鮮語研究会の発表レジュメ
- 조형일 · 남주혜(2012) “알수록 ‘스마트Smart’해지는 한국어 외래어와 외국어 표현 3300” 도서출판 역락

参考資料

- 국립국어원 “한국어 학습용 어휘 목록.xls” https://www.korean.go.kr/front/etcData/etcDataView.do?etc_seq=71&mn_id=46

ご清聴ありがとうございました